

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

2019年度事業計画

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーは、2019年度の事業計画に関する基本方針を次の通り定める。

I 事業計画基本方針

当財団は、2019年度において、以下の基本方針を掲げ、事業を推進する。

1. 財団事業の展開

定款に定められた当財団の目的に添って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた対話（はなしあい）を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を活発に展開する。

2. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 東・西活動センター

- ① 現行のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。
- ② 参加者同士の対話中心の宿泊プログラムを拡充する。
- ③ アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。
- ④ 得られた成果を機関紙による広報を超え、広く社会に発信する。基幹プログラムの成果は出版物として発行などし、知の蓄積を行う。
- ⑤ キリスト教精神に基づくものではあるが、未だに社会の共通認識を形成していない幅広い課題をプログラム化し、もってキリスト教系メディア、一般メディアの関心を高め、啓発活動を活発化する。

(2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、公益目的事業でのさらなる活用をはかる。また、当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊研修施設を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の使用に供する。
- ② リピート使用者の丁寧なフォローおよび新規使用者の開拓などに取り組み、使用率の向上及び収支の改善を図る。
- ③ 効率的な運営をはかり、公益活動への貢献度を高める。

(3) 広報活動

フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等の内容並びに各年度事業計画・予算及び事業報告・決算を機関紙「はなしあい」において定期的に報告する。同時に、東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページ等によって積極的な情報発信を継続する。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的使用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出しを行い、その収益は原則として、公益活動への貢献、施設の補修、維持、向上等に資する。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資する。

3. 運営推進体制の安定化

公益目的事業の運営推進に当たっては、まずそれを可能とする財政の健全化を進める。継続的な事業に関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動の安定的展開を目指す。

4. 賛助会員、寄附金の拡充

公益目的事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念の理解、浸透につとめ、アカデミー運動を支えようとする賛助会員及び寄附金の拡充を図る。

II. 関東活動センター2019年度事業計画

2019年度の関東活動センターは、日本クリスチャン・アカデミーの理念に基づき、以下のような諸プログラムを計画する。

1. 「今日的課題」Ⅰとして、子どもの貧困をめぐる現実、いじめ、不登校、引き籠もりに追いやられている若者たちの現状、情報過多の時代の諸ツールやフェイク・ニュースの問題、さらに現在の安倍政権の憲法改正に向けての動向などの諸課題を取り上げる。その際、マイノリティーセンター、YMCA 同盟、早稲田奉仕園、東京戦争を許さないキリスト者の会などとの共催プログラム実現の可能性を探る。
2. 「今日的課題」Ⅱとして、2017年度と2018年度に実施してきた「編集者にその本音を聞く」シリーズを、「ジャーナリストから見た現代日本の状況と課題」に模様替えをして継続する。ジャーナリストのOB、現役のジャーナリストを招いて、

キリスト教会館近くのカフェを会場に開催する。

3. 「宗教対話」Ⅰとして、昨年度に引き続き「日本キリスト教史を読む」シリーズを継続する。今年度は「昭和篇（第三世代）」として、昭和期に活躍したキリスト者たちの足跡を追い、この国のキリスト教の歩みを跡づける。なお、このシリーズは2017年度から継続されており、今年度で一応完結する予定。またこの連続講座の参加者に呼びかけて、大正・昭和期に設立された幾つかの教会を訪ねてその歴史を学び、また施設を見学するオプション・ツアーを計画している。
4. 「宗教対話」Ⅱは、昨年引き続き柏木義円の現代的意義を問う公開講演会を柏木義円研究会との共催プログラムとして実施する。
5. 聖書を読むシリーズでは、フェミニズムやポスト・コロニアル、性的マイノリティの視点などからの聖書の読み直し、あるいは今日的視点からの聖書の読み方を探ることを目的としている
6. 体験プログラムとして、昨年に引き続き「礼拝の言葉を豊かに」というテーマで、話し方ワークショップを月に一度のペースで開催する。礼拝の司式や聖書朗読、詩編交読、説教などの発声・発語の訓練を行う。
7. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、2019年度も各神学校の参画、賛助を得て、第11回プログラムを実施する。また第1回から第10回までの講師の講演を編集し、新教出版社から報告書を出版することを計画している。なお、この神学生交流プログラムの第1回から校長として協力して頂いた関田寛雄氏を囲む元参加者によるリユニオンも計画している。第10回までの参加者約150名（その多くは現在各地の教会に仕える牧師・伝道者として働いている）に呼びかけて、関西セミナーハウスを会場に一泊二日で実施する予定である。なお、11回以降は、校長が交代し新たに神田健次氏（関西学院大学名誉教授）をお願いすることになっている。

フォーラム事業			
関東フォーラム 今日的課題Ⅰ	第1回	「子どもの貧困と教会の役割 子ども食堂の取り組みから」講師・大久保正禎（王子教会牧師）他	5月24日（金）
	第2回	「フェイク・ニュースと情報リテラシー」講師 未定	日時未定

	第3回	「閉塞した社会と若者たちの生きづらさ」講師・未定	日時未定
今日的課題Ⅱ	全3回 第1回 第2回 第3回	「ジャーナリストから見た現代社会の状況と課題」 講師 菅原伸郎（元朝日新聞記者） 講師 佐々木宏人（元毎日新聞記者） 講師 川畑泰（Japan Times記者）	7月12日（金） 10月11日（金） 2020年2月7日（金）
関東フォーラム宗教対話Ⅰ	全7回	「日本キリスト教史を読むⅢ 昭和篇」由木康、赤岩栄、木俣敏、鈴木正久、北森嘉蔵、井上良雄、隅谷三喜男 講師 戒能信生（千代田教会牧師）	第1回5月9日（木） 第2回6月13日（木） 第3回7月11日（木） 第4回9月12日（木） 第5回10月10日（木） 第6回11月14日（木） 第7回12月12日（木）
関東フォーラム宗教対話Ⅱ		柏木義円公開講演会「柏木義円と親鸞」 講師 市川浩史（群馬県立女子大学教授） 柏木義円研究会との共催	11月9日（土）
研修・セミナー・体験交流事業			
聖書を読む講座	全10回	新しい聖書の学び「マルコ福音書をじっくりと読む」Ⅱ 講師 山口里子（日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター）	第1回4月9日（火） 第2回5月14日（火） 第3回6月11日（火） 第4回7月9日（火） 第5回9月10日（火） 第6回10月8日（火） 第7回11月12日（火） 第8回12月10日（火） 第9回1月14日（火）

			第10回2月4日(火)
話し方ワークショップ	全10回	「礼拝の言葉を豊かに」話し方ワークショップ(ステップ・アップ講座、初心者も可) 講師 友野富美子(経堂緑岡教会副牧師、元声優)	第1回5月13日(月) 第2回6月10日(月) 第3回7月8日(月) 第4回9月10日(月) 第5回10月21日(月) 第6回11月11日(月) 第7回12月9日(月) 第8回1月20日(月) 第9回2月10日(月) 第10回3月10日(月)
神学生交流プログラム		第11回神学生交流プログラム 校長 神田健次(関西学院大学名誉教授) 講師 未定	2020年3月14日～16日
神学生交流プログラム・リユニオン		第1回～第10回の参加者に呼びかけて関西セミナーハウスを会場に実施予定	日時未定

Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター2019年度事業計画

複雑に錯綜する現代社会の問題と取り組むには、宗教的信仰だけでは足りない。一方において、事柄の専門家と共に学際的な理解を深め、自らの判断力を形成する必要がある。他方、究極的な土台と価値判断基準を確立するために、宗教や倫理を深く学ぶことも欠かせない。この両面から、現代日本において自立的市民を育て支援するために啓発的教養フォーラムとセミナーを提供する。同時に、地域と社会に開かれた事業として、エキューメンカルな対話の場と機会にしたい。

1. 修学院フォーラム「社会」においては、昨年度までの「宗教と戦争」を発展的に継承し、シリーズ「平和を考える」を開く。継続テーマの「エネルギーを考える」の第8回では、原発を克服する困難と、希望について考える。
2. 修学院フォーラム「福祉」においては、DVと虐待、家族について考える。
3. 修学院フォーラム「いのち」においては、たばこと人生、ゲノム編集は何を可能にするか、老いの日の生き方について考える。

4. 開発教育セミナーにおいては、人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、私たちの社会のありようを考える。
5. これらに加え、お茶と俳句を楽しみつつ聖書の言葉を味わう会、紅葉の美しい季節に関西セミナーハウスの景観を背景に、お茶とお箏、器楽演奏を楽しむもみじまつりを催す。

フォーラム事業			
修学院フォーラム 社会	第1回	<平和を考える－1> D.ボンヘッファーの平和倫理 講師 山崎和明（四国学院大学名誉教授）	4月20日（土）
	第2回	<平和を考える－2> 憲法9条と自衛隊一両立か対立か （仮） 講師 松竹伸幸（かもがわ出版編集主幹）	7月27日（土）
	第3回	<平和を考える－3> 憲法9条もアメリカも日本を守ってくれない（仮） 講師 伊勢崎賢治（東京外国語大学大学院教授）	8月31日（土）
	第4回	エネルギーを考える第8回 なぜ原発を越えられないのか（仮） 講師 交渉中	2020年1月12日（日）～13日（月、祝）
	第5回	キリスト教と政治的課題（仮） 講師 佐藤 優（作家、元外務主任分析官・同志社大学神学部客員教授）	2020年2月8日（土）
修学院フォーラム 福祉	第1回	子ども・女性・若者の「貧困」（仮） 講師 交渉中 京都 YWCA と共催	日時未定 会場: 京都 YWCA 予定

	第2回	「福音家族」について (仮) 講師 晴佐久昌英 (カトリック上野教会・浅草教会主任司祭、「福音家族」主宰)	2020年2月22日 (土)
修学院フォーラム いのち	第1回	タバコの常識・ウソほんと～禁煙はここまで変わった！ 講師 高橋裕子 (医師、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学講座特任教授)	6月15日(土)
	第2回	ゲノム編集の何が問題か (仮) 講師 中山潤一 (基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門教授) 土井健司 (関西学院大学神学部教授)	10月12日 (土)
	第3回	老いの日をいかに生き、支えるか (3) 講師 交渉中	日時未定
研修・セミナー・体験交流事業			
開発教育セミナー	第1回	開発教育入門セミナー 「ワークショップを体験しよう！～ 難民・フェアトレード」 講師：関西セミナーハウス活動センター開発教育研究会 共催 京都市国際交流協会	6月23日 (日)
	第2回	パレスチナ問題はなぜ解決しないのか？～その始まりとこれからを考える～ 講師 役重善洋 (パレスチナの平和を考える会)	7月20日 (土) ～21日 (日)

	第3回	多様性を豊かさにする社会に向けて ～人権としての言語から考える～ 講師 木村護郎クリストフ（上智大 学外国語学部ドイツ語学科）	9月7日（土） ～8日（日）
	第4回	忘却を乗り越える～足尾鉍毒問題の 今 講師 菅井益郎（元國學院大學經濟 学部教授）	10月26日（土） ～27日（日）
	第5回	在日コリアンの歴史から学び、未来 を考える〈フィールドワーク予定〉 講師 水野直樹（京都大学名誉教授）	11月30日（土） ～12月1日（日）
	第6回	『下からのグローバル化』から考え る私たちの暮らし～「その日暮らし」 の経済は、新しい社会の可能性を開 くのか～（仮） 講師 小川さやか（立命館大学）	12月14日（土） ～15日（日）
お茶のこころと 宗教のこころ	全8回	聖書をいっしょに読みましょう2019 座長 榎本 栄次（日本基督教団牧 師、関西セミナーハウス活動 センター所長代行）	①4月8日（月） ②5月13日（月） ③6月3日（月） ④7月1日（月） ⑤9月2日（月） ⑥10月7日（月） ⑦11月11日（月） ⑧12月2日（月）
もみじまつり		茶席、邦楽、美術展示、音楽演奏 関西セミナーハウスと共催	11月23日（土、 祝）

Ⅲ 関西セミナーハウス2019年度事業計画

2019年度の関西セミナーハウス事業計画は、以下の通りである。

1. 運営方針

- 1) 関西セミナーハウスは、本法人の基本方針に従い、公益事業への貢献、収益事業での成果を求める運営を図る。

- 2) 課題である組織的運営体制の整備、システム化、業務効率化、専門的業務の支援体制の充実、職員スタッフの育成などを推進する。
 - 3) 関西セミナーハウスは、減価償却費を含めた収支均衡を目指す。
 - 4) 関西セミナーハウスの設備投資は、別途定める長期的な設備投資計画に基づき、実行する。そのために今年度より「大規模改修積立」を開始する。
 - 5) 2019年度は、関西セミナーハウス会計の減価償却引当金の範囲内で優先順位を定め、実行する。
 - 6) 財団本部の方針である「財政健全化計画」に対処する。
2. 予算編成作業実施にあたっての留意点
- 1) 会計単位別の収支予算書に加え、関西セミナーハウスについては損益計算書を作成する。
 - 2) 人的費用は、職員だけではなく、顧問、嘱託、パートタイマー及び臨時雇用員までの全ての費用を把握し、予算に計上する。やむを得ない次員補充を行うが、職員、臨時雇用員を含め、要員の増員は行わないこととする。
 - 3) 関西セミナーハウスは、公益目的事業、収益事業別の施設使用計画を作成する。
3. 主な数値目標
- 1) 収入計画 (P&L ベース)

売上高	114,115,000 円
営業利益	3,300,000 円
 - 2) 設備投資計画

当年度予算	10,570,000 円
主な案件	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸ポンプ取り換え工事 ・スマートフォン検索システム構築 ・予約システム関連
 - 3) 宿泊者目標

上半期	4,550 名 (前年度比 113.9%)
下半期	4,050 名 (前年予測比 103.2%)
年間	8,600 名 (前年度予測比 108.6%)
 - 4) 年度期首要員 14 名

(以 上)